

# 米軍占領下の女性への性暴力

## 神戸における「占領軍慰安婦募集」から見えること

一〇 存知でしたか？軍慰安婦は戦後もあったことを。

ㄥ 敗戦のなんと3日後、占領軍の本拠地にあたる東京に占領軍の為の性的慰安施設を作り、すぐに「慰安婦募集」を行ないました。日本政府は、「占領兵による性暴力を防ぐため」と称して全国の遊郭に命じて米兵への性的サービスにあたらせたのです。

他都市でも、同様の施設が次々と作られました。結局、慰安婦の数が足りなくて、一般女性達に募集を呼びかけました。慰安婦の募集は、だまし募集を行いました。敗戦後、子どもをかかえ生活に困窮した女性や、戦争で家族を失った女性の多くが募集に応じました。

ところが性病の蔓延が原因で施設はすぐ閉鎖になり、彼女たちは突然、失業状態におかれ放置されました。その結果、彼女たちの多くは街頭に立って、占領兵相手に売春をせざるをえなくなりました。彼女たちは世間の人たちから「パンパン」と侮蔑的に言われました。神戸では施設閉鎖の3日後に、MP（米軍の警察）と日本の警察が、小学生から70代までの女性たちを暴力的に警察へ連れていき、局部検診をおこないました。他県ではこの暴力的なキャッチ（検挙）がショックで、自殺した女子高生もいます。

戦後70年たっても、この問題は未解決のままです。これは占領期だけの問題ではなく、「従軍慰安婦」から現在に続く問題です。今回は「占領期の女性への性暴力」を研究のテーマにされている茶園敏美さんにお話していただきます。この問題について共に考えましょう。



● 日時 2015年11月14日(土)  
18時30分～21時

● 場所 ドーンセンター・4F 中会議室1  
(大阪府男女共同参画・青少年センター)

● 講師 茶園敏美さん  
(京都大学アジア研究教育推進ユニット (KUASU) 研究員)

● 会費 1000円  
\*維持会員の方は無料です。

参加は  
女性のみに

お問い合わせ

性暴力を許さない女の会

大阪市東淀川郵便局私書箱15号

TEL 06-6322-2313 (毎週火曜日 夜7～9時のみ)